

旧厚見郡下佐波村 明治二年（一八六九）の神仏分離に関する史料

（青木久太郎家文書 岐阜県歴史資料館蔵）

覺

一幡宮の厨子

明治元戊辰歳十月に

以年暮のち大に指お師

長即

江文の多しと也

以神神告佛像の厨子

ヲニツ江文の佛像の厨子

後入の厨子

一幡宮の厨子

但此の神神の社之内に

二神ありし付是の事

一幡宮の深古の神神

也

石の付る所の川に流る市

古名をいふ人々の厨子

と云ふ所の名をいふ厨子

重和の如油の河目かたり

尚ほ是の事人の御師の御

手付代をいふ所の厨子の御

宮遷吉以迄一己巳年

二月九日吉祥舟御厨子

手遷佛佛御厨子

手遷佛佛御厨子

取多時宮之社占遷

久之衛扣

御厨子表書付真

八幡太神

佐波之郷
惣社

明治記元戊辰年

三月吉祥舟御厨子

奉再真

佐波之郷

惣氏子中

石通了少去表

池

久之衛

八幡宮表表座表

表記

《關連史料》

(青木久太郎家文書 岐阜県歴史資料館蔵)

